

.....
本会記事
.....**2020 年度秋季大会報告**

2020 年度秋季大会は、10 月 27 日（火）～29 日（木）の 3 日間、オンラインにて開催しました。講演発表件数は、受賞記念講演 12 件、特別講演 6 件、招待講演 13 件、一般講演 129 件の合計 160 件、3 日間の参加者数は約 330 名でした。

2019 年末に中国・武漢市で報告された原因不明の肺炎（新型コロナウイルス感染症）は、1 月末のクルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス（DP）」号での集団感染の発生で、私たちも「COVID-19＝コロナ」という言葉を毎日耳にし、4 月には緊急事態宣言が発令され、当会の春季大会も中止せざるを得なくなりました。粉末冶金講座ならびに 2020 年度秋季大会を開催するにあたりオンライン検討委員会を設け、いろいろと検討を頂きました。

2020 年度秋季大会については、できれば九州大学で対面による開催をしたいと思っておりましたが、申込締切日の 7 月末の時点で、コロナ感染拡大の状況は少し鈍化していたとは言え、まだ現地開催を決定できる状況にはならず、オンライン開催が決定しました。

当会関連学協会の各講演会においても現地開催は一切なく、オンライン開催となりました。オンライン開催の方法には、Zoom 等を利用した Live 配信による発表と、オンデマンドの動画等による発表が主な発表方法になります。7 月下旬頃には、Live 配信を決定した学協会においてもまだ実際に開催されておらず、Live 配信が問題なくできるものかという不安材料と、Live 配信はかなり大変であるとの判断から、今回当会は後者を選択しました。

当会では、1) オンデマンド動画による発表、2) オンデマンドスライド資料の公開による発表ならびに 3) 講演概要 PDF のみによる発表の 3 つの方法から発表を頂きました。発表の内訳は、1) 116 件、2) 29 件、3) 15 件で、加えて春季大会恒例となっている日本粉末冶金工業会の受賞記念特別セッションも本大会で開催され、1 件のオンデマンド動画、9 件の講演概要 PDF のみの発表があり、貴重な情報を頂きました。

講演概要 PDF の公開は、通常の大会同様開催の 2 週間前に公開しましたが、動画とスライド資料の発表は、3 日間のプログラムに沿って、発表日の 9 時～19 時で公開しました。通常開催に近い形で開催しようということ、発表者が 3 日間ずっと待機することは大変であるとのことで、日時を決めて公開しました。自分の都合に合わせて視聴することができて良かったという意見がある一方、19 時までに見たい講演が全部見られなかった、オンデマンドなので 3 日間ゆっくり見て質疑応答がしたかったという意見もありました。質疑応答は、公開システム Confit のコメント機能を利用して行いました。質問をされた発表者には、「質問が投稿された」旨のメールが行く一方、質問をした側には、「回答があった」旨の連絡がないため、回答があるか否かを何度も確認しなければならない大変さが後になって解るなど、いろいろな課題が出てまいりました。

また、懇親会は大会最終日の 18 時から 20 時、Remo Conference というオンラインシステムで開催しました。尾崎由紀子実行委員の開会の辞に始まり、品川一成実行委員長と吉村一良会長のご挨拶、そして三浦秀士名誉会員のご挨拶と乾杯のご発声で歓談がスタートしました。今回は約 40 名の方にご参加頂き、途中、出席の学生さんに自己紹介を頂き、参加者からの質問も受け付けました。リモート懇親会だからでしょうか、「指導教官の〇〇先生はどんな人ですか？」という質問に、学生さんが少しタジタジとなった場面もありましたが、先生方の知られざる一面も披露され、楽しい会となりました。歓談は 6 人掛けのテーブルが幾つかあり、同テーブルの人の顔と声だけが見聞きでき、会話をしますが、席の移動も自由に行え、20 時にシステムがクローズされるまで、約 30 名の方が歓談を頂き、思った以上に楽しんで頂きました。今回ご出席頂けなかった皆さまには、また機会があれば、リモートの懇親会にもご出席を頂きたいと思えます。

2021 年度春季大会は、6 月 1 日（火）～3 日（木）に京都大学宇治キャンパスで開催予定です。

（井上 羊子）